



ISO9001:2015 認証機関



日本認知症ケア学会認定施設

岡山ひだまりの里病院 広報紙
第137号2026年9月発行
発行責任者 藤田文博

選ぶ楽しさと、あふれる笑顔

初めての「デザートバイキング」 《2階病棟》



栄養科からの発案で、初めて『デザートバイキング』を7月14日、2階病棟で行いました。

バイキングなので、複数あるデザートから患者さんご自身で「2個」選んでももらいました。用意されたデザートは「カップケーキ」「ショコラのロールケーキ」「あんみつ」「焼きプリン」「かき氷風ゼリー」「コーヒゼリー」「冷やしぜんざい」の7種類。飲み物も「アイスコーヒー」「アイスティー」「カルピスウォーター」から選べます。

メニューを眺め、笑顔で悩む患者さんの姿はとても愛らしかったです。「今日は何の日? 特別な日みたい」「2個も選べるの?」「こんなのを食べたかった」「おいしい!」「幸せ!」「僕は酒も飲まんし、タバコも吸わん。だから、甘いものが大好きなんじゃ」と思い思いの声を出されていました。いつもと違うおやつタイムに場は明るくなり、会話も弾みました。

ちなみにですが、あんみつの白玉には豆腐を使用しており、柔らかく、食べやすい形に調整してくれていました。またこの日の人気ナンバーワンは「コーヒゼリー」でした。

看護師 中山 真利代



7月14日、2階病棟で行った『デザートバイキング』。栄養科としては以前から実施したいと考えており、病棟へ提案し、今回始めて開催する運びとなりました。

メニューは調理師、栄養士で相談し、咀嚼や飲み込みが難しい方でも安心して召し上がっていただけるようなデザートを7種類用意。これほど多くのおやつを一度に作るのは初めてでしたが、「患者さんに喜んでもらいたい」という思いを込めて一つ一つ丁寧に仕上げました。ロールケーキにはクリームでくまの顔をデコレーションし、見た目にも楽しめるよう工夫しました。

当日は調理師、栄養士も患者さんの元へ赴き、おやつをお届け。患者さんが好きなおやつを選ばれ、一口召し上がったときの「おいしい!」の言葉は、私たちスタッフにとって大変うれしく、大きなやりがいを感じました。

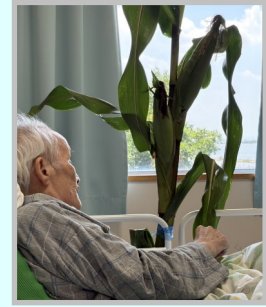
これからも入院生活の中に季節感や楽しみを感じていただけるよう、工夫を重ねてまいります。 調理師 三宅 敏広



安心と工夫を込めた
栄養科のこだわり

認知症の『あんな話・こんな話』

大好きだったとうもろこしに そっと手を添えて ～大切な思い出に触れるひととき～



「患者さん一人ひとりに大切な思い出があり、残された時間をどのように過ごしていただくか」日々のケアを行う中で、私たち医療スタッフはその思いに馳せています。

Aさんはお看取り期に入りました。ご家族から「とうもろこしの季節になると毎年、家族みんなを連れて、蒜山まで車で買いに行っていました。それほど、とうもろこしが好きだったんです」と、教えていただきました。その思い出を少しでも形にしたいと考え、病室のベッドサイドに茎ごとのとうもろこしを飾りました。



Aさんはゆっくりと手を伸ばし、葉や実に触れると、穏やかな表情を見せてくださいました。また大好きなとうもろこしを、ご家族が食べやすいペーストにしてくださいました。Aさんは美味しそうに召し上がり、ご家族から「良い思い出を作ることができました」と、温かい言葉をいただきました。

人生の思い出や季節を大切にしたい関わりはご本人だけでなく、ご家族さんの心にも寄り添うケアにつながることを、改めて実感した一場面となりました。

看護師 宮原 真由美

『新しい認知症観』に出会う 9月26日、みんなでつくる「サポくまフェスティバル」へ行こう！

9月26日（土）10時～14時、岡山ふれあいセンターにて、認知症啓発イベント「サポくまフェスティバル」が開催されます。本イベントは、9月の「世界アルツハイマー月間」にあわせて行われる催しです。昨年に続き「岡山ひだまりの里病院」と「グループホームひだまりの家」は一緒に企画を考えます。今年はさらに岡山市東区金田にある「グループホームさっちゃん家」を加えての、共同出展となります。

今回のコンセプトは「新しい認知症観が見える。当事者からのメッセージ」です。出展に向け、7月8日に第1回目の打ち合わせを行いました。準備段階から地域の皆さまや認知症のあるご本人を交え、「できること」「やりたいこと」を一緒に考えるところからはじめました。会議では、ご本人から下記のような前向きな言葉が次々と飛び出しました。



会議の様子

- 「地域の認知症カフェの方にも協力をお願いしよう」
- 「今年はウェイトレスに挑戦してみたい！」
- 「私にできることなら何でもやります」

こうした声からアイデアが広がり、当日は「カフェ」や「野菜販売」「展示コーナー」と、少しずつワクワクするような企画が形になりつつあります。

こうして地域の人たちと一緒に作り上げるあたたかな催しです。当日はぜひ会場へ足をお運びいただき、笑顔で輝く皆さまの姿をご覧ください。

グループホームひだまりの家 大井 宣子

「岡山ひだまりの里病院での研修を終えて」



この4月から3ヶ月間、岡山ひだまりの里病院で勤務いたしました医師の国吉です。

病棟や外来での診療を中心に携わる中で、当事者様だけでなく、ご家族様の思いもお聞きする機会も多く、皆様の抱えて居られる苦悩や葛藤を知る機会となりました。また、スタッフと一緒にご自宅や施設へ訪問し、実情を知る機会にもなりました。

岡山ひだまりの里病院が携わる「こおり銀座（認知症カフェ）」にお邪魔しお話を聞かせていただいたり、当事者様の講演会にも参加させていただきました。当事者様やご家族様の思いに触れ、認知症に関わる方々の思いを大切にしながら診療していこうと、改めて決意した所存です。

7月からは同法人の林病院にて勤務しております。「認知症の人がその人らしく生きること」を大切にしながら、微力ながら今後も支援に尽力してまいります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

林病院 医師 国吉 学



こおり銀座（認知症カフェ）にて



当事者様の講演会にも参加。一番右 国吉医師



同じ悩みを持つ仲間と語り合う「家族会」を開催

当院デイケアおよび外来をご利用されている患者様のご家族を対象に、7月18日「家族会」を開催し、18名のご家族にご参加いただきました。

前半は、デイケアの介護士による講話「認知症と介護のポイント」を行いました。参加された方からは「なんとなく分かっていたことや気になっていた点を詳しく聞けて、とても勉強になった」「『本人と介護者は鏡』という言葉に、深く共感した」といった感想が寄せられました。

後半は、小グループでの交流会を行いました。長年介護を続けてこられた方が、初めて参加された方の悩みにやさしくアドバイスを送るなど、温かい交流が見られました。同じ立場だからこそ思いを分かち合え、時には笑顔もあふれる、終始なごやかな時間となりました。

次回は今年11月に「全体家族会」を予定しております。今後も、ご家族同士が気持ちを分かち合える場を大切に繋いでまいります。 外来相談員 板野 宏美



参加者のお声（アンケートより抜粋）

「皆、同じことで悩んでいるんだなと思って心強くなった」

「他の方の経験を聞くことができて、また頑張ろうと思えた」

「色々な方の話が聞けて本当に良かったです。環境は違っても、悩みや不安が聞けて良かった」

「自由に思っていることを話せて、聞くこともできてとても楽しかった。このような交流会に参加させていただけることを幸せに思っている」



【講演会レポート】

岡山旭東病院での地域連携カンファレンスに登壇



8月6日、岡山旭東病院で「本人の『できる』を支える地域連携～認知症専門病院とつなぐ・支える・共に歩む～」をテーマとした講演会が開催され、藤田院長、当院に通院する田中さん、相談員の加嶋が講演を行いました。

前半は藤田院長が、認知症専門医療機関としての役割や診断の意味、診断後の支援の重要性について講演。「支援なき診断はしてはいけない」という言葉があり、長年患者さんと真摯に向き合ってきたからこそその強い思いが込められていました。



岡山旭東病院の相談員と一緒に。
一番右が藤田院長、一番左が
加嶋さん、左から2番目が田中さん。



後半は田中さんと加嶋による対談形式で、認知症当事者としての思いや医療・福祉関係者に望むこと、生活の中で大切にしていることや工夫、早期診断と支援の必要性についてお話ししました。田中さんは岡山旭東病院で認知症の診断を受け、同院の相談員の支援を通じて当院につながりました。現在は、同じように認知症と診断された方々と交流しながら、生き生きと生活されています。診断直後には「どうしていいかわからず、涙を流した」と当時を振り返る田中さん。

今回の講演を通して、医療・福祉機関がつながり、必要な支援へと「バトン」をつなぐことの大切さを、改めて確認する貴重な機会となりました。 相談員 加嶋 夏代

お知らせ

参加して
みませんか？

主催：岡山ふれあいセンター・岡山市中区地域包括支援センター 令和6年9月ふれあいイベント

当日は飲食ブースも多数出店するよ！

名前は「サポくま」
岡山市地域包括支援センター
認知症担当キャラクターだよ！

認知症月間 特別企画

**サポくま
フェスティバル
2026**

2026.09.26(土) 10:00~14:00

※2ページに関連記事が掲載されています

ごあんない

岡山ひだまりの里病院

〒702-8012

岡山市南区北浦822-2

☎ 086-267-2011 FAX 086-267-2013

ホームページ <https://hidamari.hayashi-dorin.or.jp/>

《外来》

診療日時：月曜～金曜

9:00～12:30

※予約制です。まずは
お電話でご予約下さい

《認知症デイケア》

実施時間：月曜～土曜

9:30～15:30

(日曜・年末年始はお休み)

相談員、看護師、作業療法士による訪問看護を行っています。詳しくはお電話下さい。

無料低額診療事業を実施しています。

医療費でお困りの方はご相談ください。

入院中の差額ベッド料はいただいております。